



みゆき小だより



令和5年12月14日
第4号

「食事は体をつくる」「経験は心をつくる」

「みゆきっ子発表会」「マラソン大会」では、子どもたちのがんばる姿を見に来ていただき、ありがとうございました。PTAの役員の方々、自治会の方々のお力をお借りし、子どもたちが安心してがんばれる環境をつくれましたこと、心から感謝申し上げます。

行事を通して子どもたちは大きく成長します。みんなで一つのものをつくり上げるために心を合わせたり、がまんしたり、目標に向かって努力したり…大変なこともたくさんありますが、それを乗り越えて達成感を得ることは、子どもにとって大切な経験です。次に向かうエネルギーにもなります。日々の生活の中でも、いろいろな経験をすることで子どもたちは成長していきます。問題を解決するにはどうしたらよいのか自分で考えていくことは、子どもの生きる力を育みます。よかれと思って手を出すことで子どもの貴重な経験の機会を妨げないように、私たち大人は時には見守ることも大切だと思います。よく食べて、さまざまな経験を栄養にし、子どもたちの「心」と「体」が豊かに成長していくことを願っています。

「ことば」について考える

12月4日～10日は世界人権週間。子どもたちには「ことば」について考える一週間にしてほしいと伝え、2冊の絵本を読みました。ご家庭でも話題にしてみてください。

「ふわふわことば」は、相手の心が元気になったり、楽しくなったりすることば。「ちくちくことば」は、相手の心が痛くなったり、せつなくなったりすることば。「ふわふわことば」と「ちくちくことば」は、どんどん増えていく。あなたが「ちくちくことば」を使えば、相手も「ちくちくことば」を使いたくなる。あなたが「ふわふわことば」を使えば、相手も「ふわふわことば」を使ってくれる。思ったことをことばにするとき、それが、「ちくちくことば」になっていたら、「ふわふわことば」に変えるんだよ。「ふわふわことば」を使えるあなたでいよう。(一部を抜粋)



もしも、話すことばが目に見えたら、どんな形をしているだろう。声によって色はかわるのかな。だれかを傷つけることばが針の形をしているとしたらどうだろう。思いもよらないことばが、相手に刺さるのを見ることになるかもしれない。刺さった場所や血ののにじんだ傷口まで見るとしたら、ことばの使い方は変わるだろうか。

もしもことばが目に見えたら…わたしの話すことばは、どんな形や色をしているだろう。毎日消えていく話ことばの向こうの心の形をさがす。大切な人に花のようなことばを届けることができるように。(一部を抜粋)